

やすらぎ短信

令和3年
12月号

師走の大祓式

全国各地の神社では、毎年十二月三十一日に大祓式（おおほらいしき）が行われます。この祭儀は、神話に由来し、古くから宮中で



行われてきました。中世以降に各神社の年中行事として普及し現在に至ります。一年の暮らしの中で、知らず知らずのうちに犯してしまった罪（つみ）や穢れ（けがれ）を半紙の人形（ひとがた）に移してお祓い致します。すがすがしい心で新年を迎えるために日本人が古来より行ってきた儀式です。
当社では、十二月三十一日午後三時より大祓式を斎行し、心身健康と無病息災をご祈願致します。皆様のご参列をお待ちしております。

新年祭事のご案内



【元旦祭】

一月一日（土） 午前零時より

お神札・お守り・熊手・神矢
おみくじ・縁起物を授与。

【開運祭】

一月一日（土） 午前十時三十分

開運招福祈願。
神楽舞を奉納（月姫会）。

【古神札焼納祭（どんど焼き）】

一月十五日（土） 午前九時より

神棚のお神札、御守、熊手、神矢、縁起物等を焼納致します。

当日は、お汁粉、甘酒を振舞います。

初詣に伴う感染拡大防止対策

- マスクの着用。
- 手指の消毒。（各所に消毒を配置）
- ソーシャルディスタンスの確保。
- 熱のある方、体調のすぐれない方のご参拝はご遠慮ください。
- 団体でのご祈祷は十名まで。

以上

新嘗祭並びに

収穫勤労感謝祭を斎行

去る十一月二十三日、新嘗祭並びに収穫勤労感謝祭を斎行致しました。今年もコロナ感染防止のため、氏子会役員と産業団体のみのご参列に制限させて頂き、収穫感謝の祈りを捧げました。



宮司の一筆

十勝出身の歌手、故郷へ音(恩)返し

去る十月、帯広市出身の歌手、佐脇由佳さん（現在、札幌市で活躍中）が当社の乳神神社へ参拝された。佐脇さんは今、希少癌の一つ「子宮内膜間質肉腫」を抱えている。そして、夏に再発、肺への転移も確認された。しかし、佐脇さんは命のある限り「生きること」と「音楽」に向き合い、精一杯「歌う」ことを選択、故郷である十勝へ音楽で恩返しをしたという熱い想いを社務所で語られた。会話後、私の頭の中には、父の闘病中の辛い過去が走馬灯のように蘇ってきた。しかし、それと同時に忘れかけていた大切なことも思い出した。闘病中の私たち家族が、「音楽」で救われたということ。癌との闘病は患者も家族も「死」と直面し、自分の心の弱さとも向き合うことになる。そこを支えてくれたのが「音楽」だった。そして、旅立っていった父の遺言が「神主として、患者さんやその家族

の心にしっかりと寄り添いなさい。」だった。後日、佐脇さんと連絡をとり、話し合いしていくうちに、同志が集まってきたくれた。癌患者や家族を勇気づける楽曲を佐脇さんが書き下ろし、浦幌町内の大自然や四季の移ろいを背景にプロモーション動画を撮影するプロジェクトが動き出した。撮影は、浦幌町の魅力を動画で発信しようと今年結成された有志の会「うらほろclick」が担当する。佐脇さんの歌を通じて、今を生きることの大切さや人と人との繋がりの大切さを知るプロジェクトにしたいと思う。そして、何よりも、佐脇さんの病気平癒を乳神神社に只々祈るばかりである。



癒しの杜（もり）作品展で歌声を披露する佐脇由佳さん（浦幌神社社務所）

鳥獣魂碑慰霊祭を斎行

去る十一月十四日、

北海道猟友会池田支部浦幌部会主催の鳥獣魂碑慰霊祭が行われ、会員らが鳥獣の慰霊と猟の安全をご祈願致しました。



伝筆（つてふで）講座開催

去る十一月二十七日、

わでん伝筆マスター伊賀明美先生をお招きし、伝筆講座を開催、十五名が参加されました。受講者は、それぞれの想いを伝筆に込め、作品を完成させました。



浦幌神社行事予定

- 十二月一日 月次祭
- 十二月十五日 月次祭
- 十二月三十一日 大祓式

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 ○一五・五七六・二四四八